

午後 試験

高度化・多様化する情報技術に対応できるシステム監査人を育成するという観点に基づいて、情報技術について広く深い理解を求めるテーマを出題した。そのため、各テーマについての実務経験を有していない受験者にとっては、難しい問題になったと思われる。

すべての問において、論述内容が一般的で具体的な記述まで至っていないものが多かった。

問 1 (情報システム又は組込みシステムに対するシステムテストの監査について) は、システム開発段階の基本的なテーマであることから、選択率が最も高かった。情報システムを対象にした論述が多かったが、組込みシステムを対象にした論述も見受けられた。設問イ、ウは、単体テスト、結合テストなどを含めたテスト工程全体や、テストの実施手順についてなど、システムテストの位置づけや具体的な内容を理解できていない論述が目立った。また、設問ウでは監査の実施手順や、監査ポイントだけで、監査証拠について触れていない論述が散見された。

問 2 (電子データの活用にかかわるシステム監査について) は、選択率が最も低かった。ナレッジマネジメントを推進する組織や、その有効性についての監査経験を有する受験者が、まだそれほど多くないからだと思われる。設問イでは、電子データを活用する仕組みではなく、電子データ保護のためのセキュリティ対策について述べている論述が多く見受けられた。さらに、設問イでは、監査証拠の例示を求めているが、それを具体的に挙げている論述は少なかった。

問 3 (IT 保守・運用コスト削減計画の監査について) は、全社的な IT 保守・運用コストの削減計画を対象にした論述と、個別システムの保守・運用コストの削減への取組を対象にした論述に分かれた。後者については、システム構築などにおける一般的な監査項目を記述している論述が目立った。また、削減計画の妥当性を評価するための監査項目として、削減計画を実施した場合のリスクを評価するための監査項目だけを挙げている論述が多く、削減額の実現可能性や削減の範囲・方法の妥当性を評価するための監査項目を挙げている論述は少なかった。